

平成30年度

予算と事業計画が決まりました

予算規模

一般勘定：22億7,549万円

介護勘定：2億5,590万円

一般勘定

被保険者数の増加などにより順調な保険料の増収が見込まれる一方、支出では、医療費等の保険給付費は増加、高齢者等の医療を支援するための納付金は減少する見込みです。本年度も多額の積立金を取り崩すきわめて厳しい予算編成となり、経常収支は引き続き▲2億2,764万円の赤字予算となりました。

本年度も保険料率の見直しは行いませんが、本年度の納付金等の減少は一時的なものであり、毎年、多額の積立金の取り崩しで財源を確保していることから、このまま推移すると、数年内での保険料率の見直しが避けられない状況に変わりはありません。

予算の概要

予算基礎となる被保険者数の平均は3,500人（前年度予算対比：100人増）、標準報酬月額の前年度と同じく455,000円と見込んでいます。これにより収入の大半を占める保険料は19億6,555万円（同：5,839万円増）となります。また、前述のとおり別途積立金を2億6,300万円（同：2,700万円減）取り崩し収入に充当します。

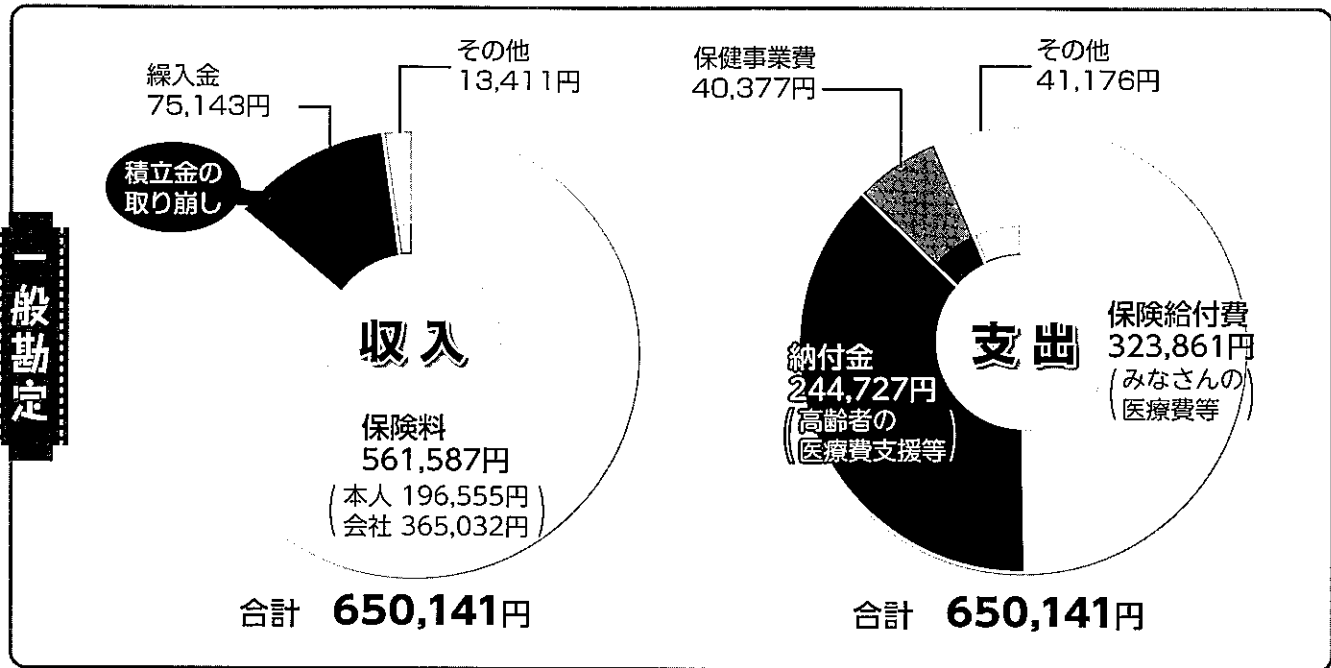
一方、保険給付費は11億3,352万円（同：5,538万円増）、納付金等は、前期高齢者納付金が前年

平成30年度収入支出予算概要表

収入			支出		
科 目	予 算 額 (千円)		科 目	予 算 額 (千円)	
保 険 料	1,965,553		事 務 費	64,408	
国 庫 負 担 金 ・ 他	495		保 險 給 付 費	1,133,515	
調 整 保 険 料	32,786		（ 法 定 給 付 費	1,096,656	
繰 入 金	263,000		付 加 給 付 費	36,859	
国 庫 補 助 金 収 入	415		納 付 金 等	856,545	
財 政 調 整 事 業 交 付 金	9,376		前 期 高 齢 者 納 付 金	303,716	
雑 収 入	3,868		後 期 高 齢 者 支 援 金	541,879	
			退 職 者 給 付 拠 出 金	10,947	
			そ の 他	3	
			保 健 事 業 費	141,321	
			還 付 金	2	
			財 政 調 整 事 業 拠 出 金	32,786	
			積 立 金	527	
			雑 支 出	1,650	
			予 備 費	44,739	
収 入 合 計	2,275,493		支 出 合 計	2,275,493	
経 常 収 入 合 計	1,970,324		経 常 支 出 合 計	2,197,966	
			経 常 収 支 差 引 額	▲227,642	

一般勘定

被保険者1人当たり額に見る収支の割合



度予算額の88.7%に減少したことなどにより、8億5,655万円（同：2,878万円減）となりました。保険給付費と納付金を合わせた義務的経費は本年度の保険料収入の101.2%と、前年度に比べると1.8ポイント改善しましたが、前述のとおり前期高齢者納付金の減少は過去分の精算による一時的なものです。

保健事業の活用により、病気の早期発見・早期治療&ポイントゲットを

前期高齢者納付金は、65歳から74歳の加入者の医療費に応じて納付額が決定されます。健保財政を大きく左右する納付金を抑制するためにも、医療費適正化に効果のある効率的な保健事業を実施することが不可欠になっています。このため、会社とも連携し、当健保組合の健診結果や医療費などの分析に基づき、本年度から第2期がスタートするデータヘルス計画を策定し、抑制可能な疾病への対策として、生活習慣病対策、がん対策、呼吸器系疾患対策、ハイリスク者に重点を置いた保健事業などを行っていきます。

また、当健保組合では昨年度から、被保険者ならびにご家族のみなさまの健康意識をより高めていただくため、保健事業の利用によりポイントが貯まる「GYヘルスケアポイント制度」の運用を開始しました。年に1回の健診の受診、人間・脳ドックや各種がん検診を受け、病気の早期発見・早期治療に努めていただくとともに、ポイントをゲットしてください。

介護勘定

国から通知される介護納付金が4,560万円増加しましたので、これを賄うため、介護保険料率を前年度の11.80/1000から13.20/1000（これを労使折半）に引き上げました。

介護勘定

収入		支出	
科目	予算額(千円)	科目	予算額(千円)
介護保険収入	237,772	介護納付金	255,600
繰越金	608	介護保険料還付金	300
繰入金	17,520		
収入合計	255,900	支出合計	255,900

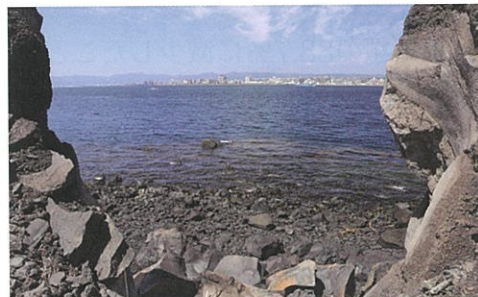
桜島・シーサイド溶岩ウォーク

今も噴火を続ける鹿児島のシンボル、桜島。活火山と人々が共に暮らす、世界でも珍しい場所として2013年に日本ジオパーク（大地の公園）に認定されている。溶岩なぎさ遊歩道は、桜島の溶岩原を観察しながら海沿いを歩く約3kmのコースだ。

鹿児島港からフェリーで約15分、桜島港に降り立ったら、まずは桜島ビジターセンターに立ち寄ろう。桜島の成り立ちと噴火の歴史を学んだら、隣接する溶岩なぎさ公園へ。遊歩道は約100年前に起きた大正噴火で流れ出た溶岩の上につくられている。この噴火で桜島は大隅半島と陸続きになった。海へ流れ込んだ溶岩の奇怪な姿を観察しながら歩を進めると、樹木の間から桜島の山並みが見え隠れしてくる。目を海へと転じれば、溶岩の磯辺と静かな錦江湾（鹿児島湾）を挟んで鹿児島市街を望むことができる。

遊歩道の終着は鳥島展望所。この場所はかつて島だったが、大正噴火によって海もろとも溶岩にのみこまれてしまったという。石碑に刻まれた「鳥島この下に」の言葉に自然の驚異、火山のパワーを思い知るに違いない。

桜島港への帰路は、スーパーマグマロード経由が早い。溶岩なぎさ公園の足湯で足の疲れを癒やそう。



錦江湾の向こうには鹿児島市街



溶岩とクロマツの中を進む



鹿児島港フェリーターミナルから桜島フェリーで約15分。

みんなの桜島協議会事務局 ☎ 099-245-2550
<http://www.sakurajima.gr.jp/>



桜島フェリー

鹿児島港と桜島港間の約4kmを約15分で結ぶフェリーは24時間運航。日中は10～20分おきに運航し、市民の足として活躍している。

大人 160 円、小人（1 歳～小学生） 80 円

車両 3 m 未満 880 円、3 m 以上 4 m 未満 1,150 円など。

※ 運転者 1 人の運賃を含む。

☎ 099-293-2525

桜島ビジターセンター

桜島噴火の歴史やメカニズムを解説・展示する火山の博物館で桜島観光の拠点。館内では映像やジオラマで桜島を体感しながら学ぶことができる。「桜島火山ガイドウォーク」（有料）などの体験プログラムもある。

☎ 9:00 ~ 17:00 ☎ 無料 休 無休

☎ 099-293-2443



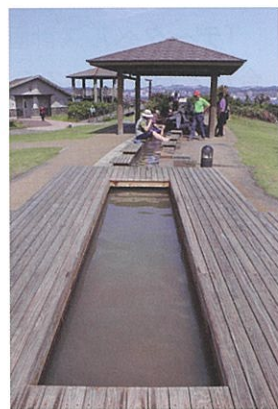
大迫力の噴火映像コーナー！



鳥島展望所

鳥島と桜島間には約500mの海があったが、大正3年(1914年)の噴火で島ごと溶岩に埋もれてしまった。周辺はすべて大正溶岩で、現在はクロマツの林が広がるなど、植生の変化が見られる場所でもある。駐車場、バス停、トイレがある。

- 🕒 見学自由
- 🎫 無料
- 🚻 無休



溶岩なぎさ公園足湯

全長約100mの長い足湯。泉質はナトリウム塩化物泉で天然温泉かけ流し。眼前の錦江湾を眺めながら足湯が楽しめる人気スポット。

- 🕒 9:00～日没
- 🎫 無料
- 🚻 無休



錦江湾の彼方に開聞岳の姿も

湯之平展望所

御岳(北岳)の4合目、海拔373mに位置する展望所。入山可能な場所では一番高所にある。北岳の迫力ある山容と鹿児島市街や開聞岳が一望できる絶景スポットで夕日や夜景も人気。

黒神埋没鳥居

神社の鳥居が大正噴火の際に軽石や火山灰で埋まってしまい、今は笠木部分だけが残っている。鹿児島県指定文化財として噴火の凄まじさを伝えてくれている。



元の高さは3mあったという鳥居

有村溶岩展望所

大正噴火で流出した溶岩の丘にある展望所。溶岩原の中が遊歩道になっていて自由に散策できる。現在も活動中の昭和火口が近くにあるため、噴煙が見られ、噴火の音が聞こえることも珍しくない。土産物店が出る観光スポットでもある。

- 🕒 見学自由
- 🎫 無料
- 🚻 無休



鹿児島といえば やっぱり 西郷どん

幕末から明治維新に活躍した薩摩藩士は多い。なかでも人気は西郷隆盛。地元の鹿児島では「せごどん」と呼ばれ敬愛されている。鹿児島市街には、ゆかりの地が点在しているのでファンならずとも訪れてみたい。

城山を背景に建つ銅像は陸軍大将の制服姿



西郷洞窟

西郷が最後の5日間を過ごしたとされる場所



洞窟を出て数百メートル。この地で自刃したと伝える碑が建つ

SWEETS TIME

鹿児島スイーツ

白くま

鹿児島市発祥の練乳をかけた氷にフルーツや豆類を盛り付けたボリューム満点のかき氷。市内の多くの喫茶店や飲食店で提供されている。



両棒餅

「ちゃんぼ」とは、鹿児島の方言で武士の大小(二本差し)のこと。焼いた餅に甘いタレがからまって香ばしい。仙巖園周辺に専門店が軒を連ねる。



※ 営業時間や料金などは変更される場合があります。

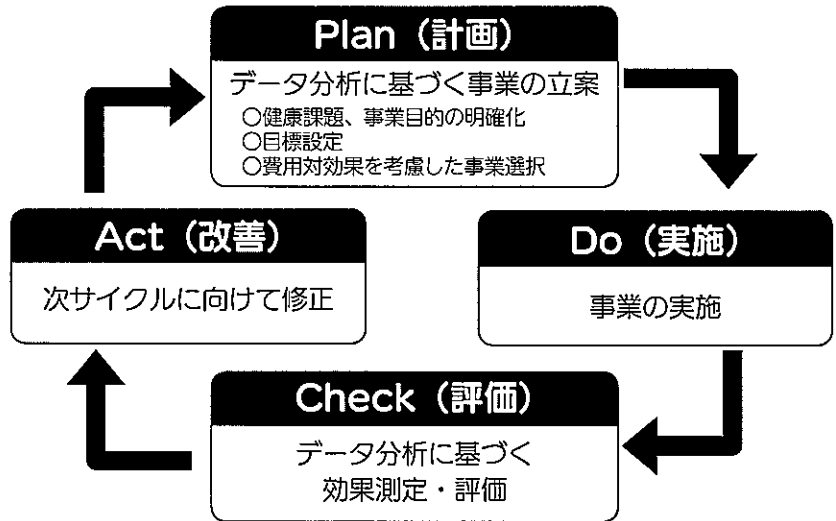
第2期 データヘルス計画がスタート!

データヘルス計画

「データヘルス計画」では、健保組合などが保有する健診結果と医療費データ（レセプト）などを分析したうえで事業を計画（Plan）し、実施（Do）します。実施した事業は評価（Check）され、次年度の事業に向けて改善（Act）し、年度ごとにPDCAサイクルを回します。

第1期データヘルス計画は2015年度から2017年度までの3年間で実施されました。

PDCAサイクル



2018年度からは 第2期 データヘルス計画

2018年度から2023年度までの6年間は第2期データヘルス計画の実施期間になります。第1期データヘルス計画の結果を踏まえ、さらに実効性を上げるポイントとして次の3つがあります。

1 課題に応じた目標設定と評価結果の見える化

加入者の特性や職場の健康課題の把握につながる分析を実施します。

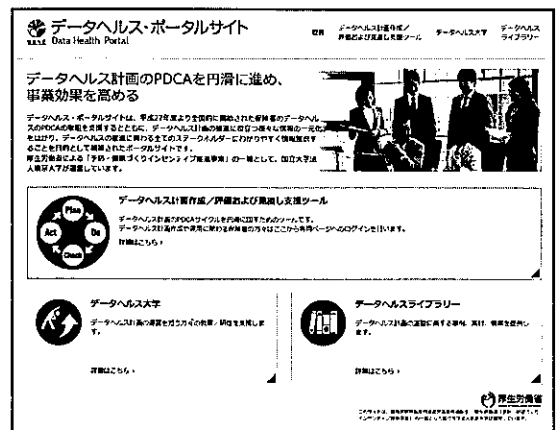
また、データヘルス計画の評価指標の数値等の見える化のために、厚生労働省は「データヘルスポータルサイト」を開設しました。

<https://datahealth-portal.jp>

2 情報共有型から課題解決型のコラボヘルス体制の構築

厚生労働省がとりまとめた「コラボヘルスガイドライン」を活用し、情報の共有だけでなく、「質の管理」や「評価・改善」といった課題解決型のコラボヘルス体制を構築します。

また、「就業中の保健指導の実施」や「受動喫煙防止の取り組み」など、事業主と連携して実施します。



3 データヘルス事業の横展開

「データヘルスポータルサイト」を活用することで、全国の健保組合のさまざまなデータヘルス事業の取り組み例を参考にすることができます。また、戦略的なヘルスケア事業を展開する民間事業者の活用や複数の健保組合による共同事業で効率的・効果的な事業展開をします。

事業主との「コラボヘルス（協働）」とは？

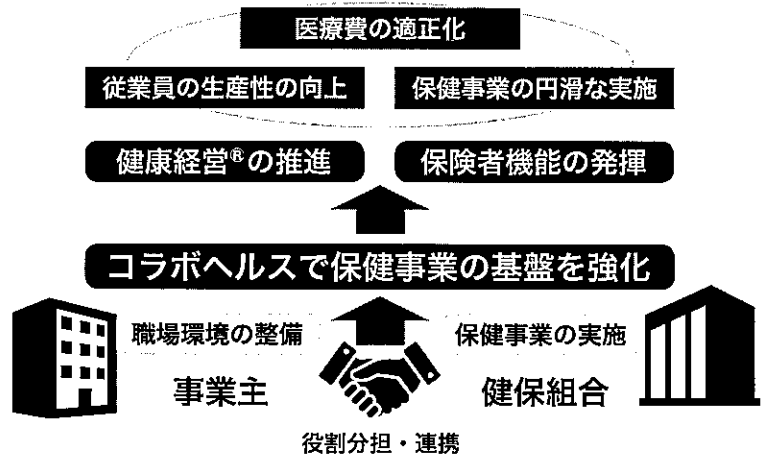
加入者の健康保持・増進のために健保組合が実施する保健事業は、事業主の健康経営[®]※推進に寄与する取り組みで、事業主と健保組合がコラボヘルス（協働）することによって相乗効果が期待されます。

コラボヘルスとは、「健康保険組合等の保険者と事業主が積極的に連携し、明確な役割分担と良好な職場環境のもと、加入者（従業員・家族）の健康づくりを効果的・効率的に実行すること」をいいます。

“健康寿命の延伸”に向けて国が強力に推進する予防・健康づくりの重要な柱になっているのが、健保組合などによるデータヘルスと事業主の健康経営[®]であり、両者の連携により予防・健康づくりの実効性を高めることができると期待されています。

※健康経営[®]：事業主が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できるとの基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することを意味しています。
 なお、健康経営[®]は、NPO法人健康経営研究会の登録商標となっています。

コラボヘルスの意義



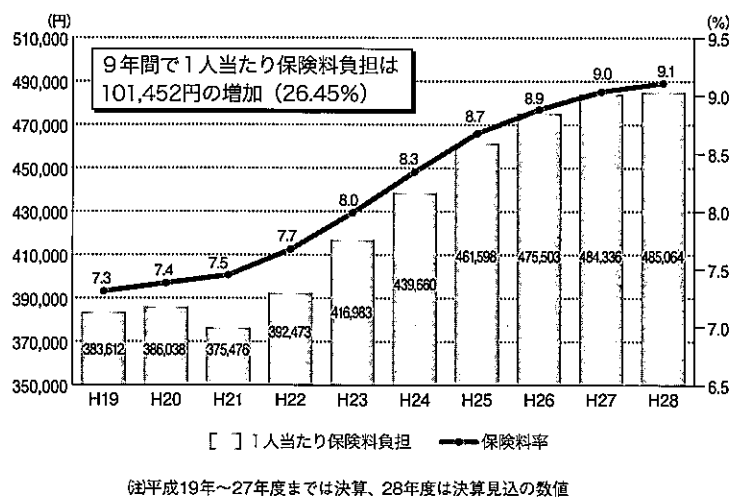
『データヘルス・健康経営[®]を推進するためのコラボヘルスガイドライン』
 (厚生労働省保健局)

ご存知ですか？ 健保組合の危機的財政状況を…

健康保険組合連合会が発表した「平成28年度健保組合決算見込の概要」によると、増え続ける医療費と高齢者医療制度への納付金・支援金などにより、全組合の約39%にあたる543組合が経常赤字となり、協会けんぽの平均保険料率（10%）以上の健保組合が300組合を超えています。平均保険料率は約9.1%で、9%以上の健保組合は881組合と全組合の63%を占めています。また、被保険者1人当たりの年間保険料負担も年々増加しています（図参照）。

データヘルス計画の推進は、加入者の健康意識の向上に加え、増え続ける医療費を抑制し、厳しい健保財政を改善することも期待されています。

被保険者1人当たり年間保険料負担および平均保険料率の推移



(注)平成19年～27年度までは決算、28年度は決算見込の数値

平成30年度

健康づくり事業のご紹介

データヘルス計画に基づき、下記のとおり平成30年度の保健事業を実施します。

保健(保険)のPR

- 1 ホームページ、健康情報サイト「KenCoM」による情報提供
※「KenCoM」健診閲覧コード登録で「GYヘルスケアポイント」500ポイント付与
- 2 機関誌「健保だより」の発行(年2回)
- 3 健康管理雑誌「すこやかファミリー」の発行(被保険者の家庭に隔月配布)
- 4 育児誌「赤ちゃん和妈妈」の配布(出産した被保険者、被扶養者に2年間家庭に配布)
- 5 健保連保健指導宣伝(健保連提供のテレビ番組等の共同負担金)

赤字のポイントは
GYヘルスケア
ポイントです



病気の予防・健康づくり

- 1 特定健診・特定保健指導……………対象:40歳以上の被保険者および被扶養者
- 2 人間ドック(1日ドック)……………対象:35歳以上の被保険者および被扶養者(自己負担15,000円 年1回)
- 3 脳ドック……………対象:35歳以上の被保険者および被扶養者(自己負担5,000円 3年に1回)
- 4 消化器集団検診……………●胃部X線検査…事業所にて35歳以上の被保険者の希望者を対象に実施
●血液検査(胃がん)…事業所にて35歳以上の被保険者、昨年度C群だった方を対象に実施
●胃部内視鏡検査…事業所にて昨年度のB・C結果者の希望者を対象に実施
- 5 腹部超音波検診……………事業所にて35歳以上の被保険者の希望者を対象に実施
- 6 前立腺がん検診……………事業所にて50歳以上の被保険者を対象に実施
- 7 血液検査(生活習慣病、肝機能)……………事業所にて全被保険者を対象に実施
- 8 家族検診(500ポイント)……………35歳以上の被扶養者に一定範囲の検診を奨励し、補助(年1回)
- 9 乳がん検診(500ポイント)……………対象:20歳以上の被保険者および被扶養者(補助金10,000円 年1回)
- 10 子宮がん検診(500ポイント)……………対象:20歳以上の被保険者および被扶養者(補助金5,000円 年1回)
- 11 家庭常備薬の配布……………全被保険者の希望者に配布(予定)
- 12 ファミリー健康相談……………ジーエス・ユアサ健康保険組合の専用フリーダイヤル
- 13 がん自己検診……………●大腸がん検診(1000ポイント)…対象:全被保険者および35歳以上の被扶養者
●肺がん検診……………対象:35歳以上の被保険者および被扶養者
●胃がん検診……………対象:35歳以上の任意継続被保険者および被扶養者
●子宮がん検診……………対象:20歳以上の被保険者および被扶養者
●前立腺がん検診(PSA測定)……………対象:50歳以上の任意継続被保険者および被扶養者
- 14 インフルエンザ予防接種補助金……………被保険者および被扶養者を対象に実施
対象者1人:2,000円以下/年
- 15 かぜ予防キットの配布……………未就学児のいる家庭に配布
- 16 健康づくり活動……………●被保険者を対象に健康づくりキャンペーン等の実施(実績に応じてポイント付与)
●「GYヘルスケアポイント」を実施



ジーエス・ユアサ健康保険組合のホームページ

アドレスは <http://www.gsyuasa-kenpo.or.jp/>

ジーエス・ユアサ健康保険組合

検索

携帯版アドレス <http://www.gsyuasa-kenpo.or.jp/m/>(お知らせのみ閲覧できます)

当健康保険組合では、ホームページからも被保険者・被扶養者のみなさまへの情報提供を行っています。

健康保険の給付などについての情報、健康づくりなどのための保健事業の情報、必要な申請書類等のダウンロードなど、さまざまなコンテンツをご用意していますので、ぜひご家族でご活用ください。